

学校だより

え ぼ し



第11号

令和8年2月9日

上田市立豊殿小学校



*本校ホームページでも学校の様子を紹介しています。QRコードよりアクセスできます。

校長講話 「豊殿小の宝物」

1月28日(水)に校長講話がありました。

今回は、職員玄関にある「豊殿小学校」の看板をかけた糸川英夫さんのお話でした。

東京大学の教授でもあった糸川先生は、日本の「ロケット開発の父」といわれます。日本で初めてロケットをつくった人です。糸川さんは小さいころから理科が好きで、太陽の光で紙を焦がしたり、磁石の液体を使って実験をしたりするなど興味のあることに取り組みました。戦時中は、「はやぶさ」という日本の戦闘機や、速くて軽い「ゼロ戦」という戦闘機を設計しました。また、戦後は武器をつくれなくなったため、バイオリンをつくる仕事をしました。その後、ロケットの研究を進め、長さ23センチの「ペンシルロケット」を開発しました。

2003年に打ち上げられた小惑星探査機「はやぶさ」がめざした小惑星「イトカワ」は、糸川先生から名付けられました。

また、糸川先生は60歳を過ぎてバレエの学校に通い、70歳でバレエダンサーとして活躍しました。こうしていろいろなことに糸川先生は挑戦し続けました。そして、豊殿小学校 120 歳のお誕生日のとき、学校のために看板をかくれました。それが正面玄関の看板です。そこには、豊殿小学校のみんなにあてた糸川先生のメッセージが書いてあります。

「能力は、天から授けられるものでなく、自分でつくり上げるものである」

みなさんも友だちと自分を比べるのではなく、自分の好きなことにとことん取り組み、自分の力で自分の可能性を切り拓いていってください。

この後、2時間目の休み時間にこの看板を子どもたちが見に来ていました。保護者や地域の皆様も、ご来校の際にぜひご覧ください。



スキー教室 ～もっと滑りたい！～

2月5日(木)、4～6年生が菅平高原スキー場にて、スキー教室を実施しました。晴天のもと、たくさんの雪に恵まれ、わくわくする気持ちも高まりました。インストラクターの指導の下、班ごと講習を行いました。「つかれた～」と言いつつ笑顔で滑っている子、何度転んでも立ち上がる子等、子どもたちのたくましさを感じました。ウィンタースポーツに触れる貴重な機会となりました。

保護者の皆様には、体調の管理や持ち物の準備等で大変お世話になりました。ありがとうございました。



令和8年度児童会長 立会演説会・選挙

～真剣に聞いて投票～

1月29日(木)、令和8年度児童会長選出のための立ち会い演説会と投票が行われました。3～6年生の皆さんは、体育館に整然と整列し、真剣な表情で会に臨んでいました。児童会を引き継ぐ3～5年生の意気込みと、次へ託そうとする6年生の思いが交ざりあっていました。

2名の児童会長候補者は、「あいさつ、学年こえて優しく、元気仲よく助け合い」「笑顔で団結して目標を達成しよう」を掲げ、堂々と演説しました。同日、選挙管理委員によって開票作業が行われ、前期児童会長・後期児童会長が決定しました。いよいよ令和8年度の児童会準備が始まります。



熊鈴の配布について

年度末になり、PTA会費の有効な支出を検討し、熊鈴を購入させていただきました。児童のために何か還元できるものはないかと考え、先日のPTA代議員会でも承認いただき、1つ500円の熊鈴を全校児童に一人ひとつ購入しました。本日、児童に配付しました。今後も熊出没の可能性があるので、身を守るための一つとして、ランドセル等に付けるなど、活用していただければと思います。

